

社会資本総合整備計画

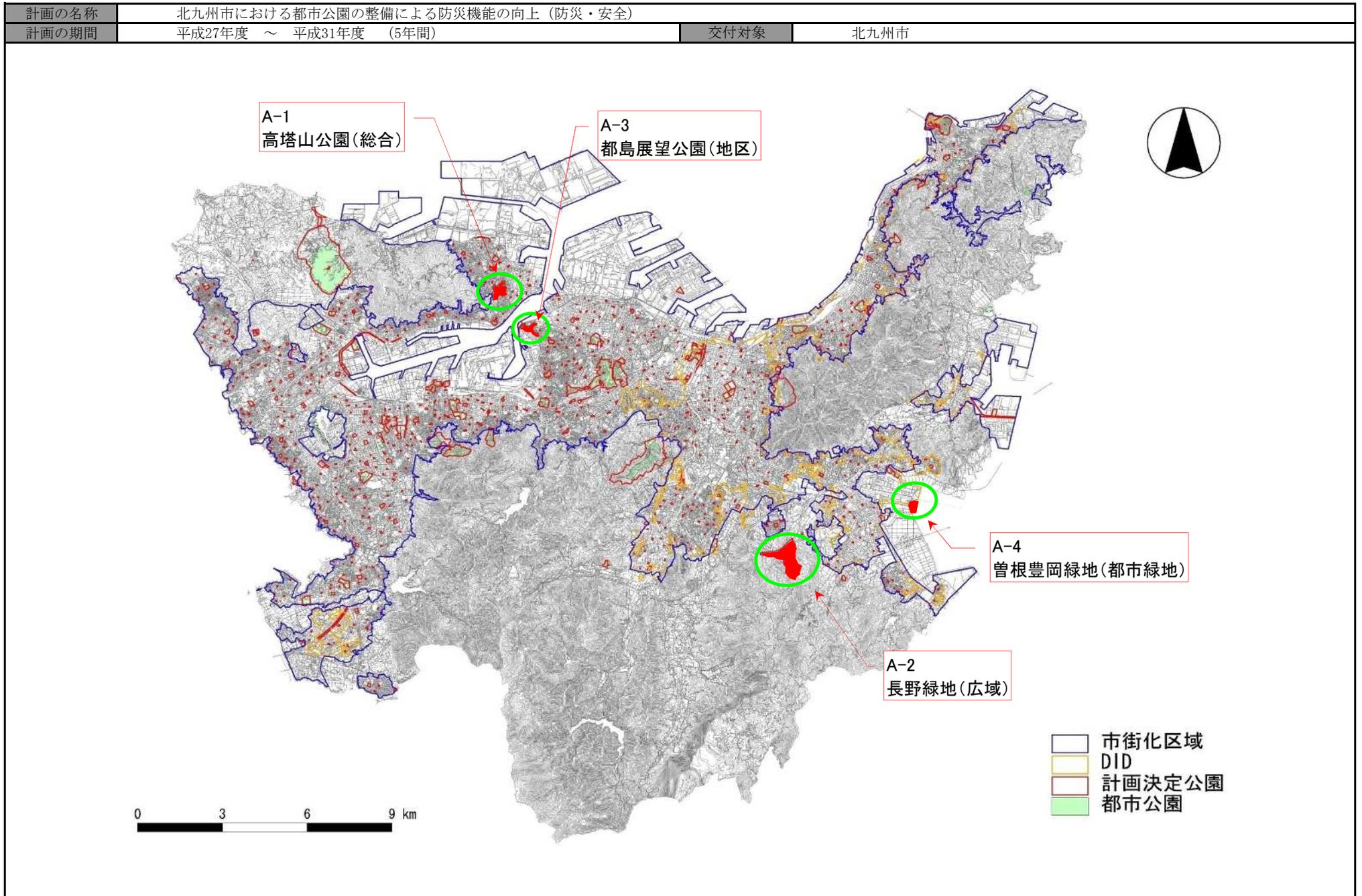
計画の名称	北九州市における都市公園の整備による防災機能の向上（防災・安全）										重点計画の該当	○					
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象	北九州市										
計画の目標	<p>北九州市地域防災計画において、都市公園は避難地として位置付けられている。通常、都市公園のオープンスペースは市民の憩いの場等として活用しているものであるが、災害時には市民の緊急的な一時避難地、復旧活動の拠点としての機能を有している。よって、当該計画においては、通常時だけでなく災害時も想定した多目的に利用できる広場の整備を行うものである。</p> <p>また、市民の安全・安心な公園利用に資するため、健全度判定Dに判定された公園施設や耐用年数が9割を超過した老朽化が著しい公園施設について、今後も公園利用者が安全・安心に利用できるよう重点的に長寿命化を推進する。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時にも多目的に活用できる広場面積の拡張</li> <li>・北九州市公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築・更新の進捗</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)			
											0ha	0.3ha		1.2ha			
											3%	25%	50%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,040百万円	A	5,030百万円	B	-	C	10百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.2%					
<b>交付対象事業</b>																	
都市防災・公園事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
A-1	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	都市公園事業（高塔山公園）	園路・広場等の整備(約0.5ha)	北九州市						30.0	—	一部策定済み	
A-2	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	都市公園事業（長野緑地）	園路・広場等の整備(約2.0ha)	北九州市						150.0	—	一部策定済み	
A-3	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	都市公園事業（都島展望公園）	野球場、多目的グラウンド整備(9.1ha)	北九州市						415.0	—	一部策定済み	
A-4	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	都市公園事業（曾根豊岡緑地）	緑地、多目的グラウンドの整備(10.2ha)	北九州市						2,820.0	—	未策定	
A-5	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	北九州市公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設の長寿命計画の策定	北九州市						15.0	—	-	
A-6	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	北九州市公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設の長寿命化、改築・更新	北九州市						1,600.0	—	策定済み	
小計（都市防災・公園事業）													5,030				
<b>C 効果促進事業</b>																	
都市防災・公園事業効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
C-1	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	災害関連標識（避難場所）の設置	標識の設置	北九州市						10.0			
小計													10.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C-1	北九州市地域防災計画に避難地として位置付ける公園（A1～A4含む）に、当該公園が避難地であることを明示した標識等を設置することで、市民への周知に寄与することができる。																
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	319	334	182	206	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	319	334	182	206	
前年度からの繰越額 (d)	98	172	187	112	
支払済額 (e)	245	319	257	212	
翌年度繰越額 (f)	172	187	112	106	
うち未契約繰越額 (g)	58	84	50	57	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	14.0%	16.6%	13.6%	17.9%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	平成27年度国補正予算が未契約繰越となったため。	平成28年度国補正予算が未契約繰越となったため。	地元調整等に不測の日数を要したため。	地元調整等に不測の日数を要したため。	

(参考図面) 社会資本整備総合計画



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 北九州市における都市公園の整備による防災機能の向上(防災・安全)

都道府県・市町村名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○